

# 「タイルフィックス工業会」設立へ



外壁タイル剥落防止システム『タイルフィックス工法』の普及に向けて、東邦建材（本社・中央区、野口博司社長）は3月19日に『タイルフィックス工業会』を設立する。高度経済成長期に建設されたオフィスビルやマンションなどの外装タイルが劣化する今後、廃棄物の発生を抑制し、省資源で環境にやさしい部分補修工法として全国展開を目指す。「価格競争から脱却し、維持修繕の時代に的を得た拡販商品」（富田幸助専務取締役）をどう全国展開へ拡げていくか。担当者である菅原鉄治・同社TF事業部技術部長に設立総会へ向けての経緯を聞いた。

（聞き手は開発営業部＝黒岡晃）

「磁器質タイル壁面は、  
間の経過とともにタイ  
の浮きが発生しやす  
く、時には脱落といった  
常に危険な状態になる  
ことがあります。200

3

A stylized graphic of the word "ZACK" in block letters. The letters are thick and have a dotted texture. A hand is shown holding a pencil, writing the letter "K" on a curved line that forms the base of the letters.

により調査』が加わ  
またマンション大規  
いては。――団体設立の

診等により調査』が加わり、またマンション大規模修繕を対象とした住宅瑕疵担保履行法に基づく保険制度のスタートなど、ストックの維持補修分野での市場拡大が見込まれています。5年くらい前から開発に取り組み、ステンレス製特殊アングルバー（タイルフィックラックス）を、専用工具キシ樹脂によって下地躯体へ直接固定する外壁タイル剥離防止工法として、08年から10年を経てからの講習会員33名で、『竣工、外壁改修』に基づく定期報告の見直しで、『竣工、外壁改修』  
8年4月から建築基準法に基づく定期報告の見直しで、『竣工、外壁改修』  
最初の調査の際に全面打落防止工法として、08年  
て年2

団体設立の趣旨につなく団  
これまでも関東を中心として確立し、  
全国で25件の施工会員社を重ねてきました。  
より普及促進を図る――

団体として施工技術から、責任施工体制をさしいていく考えです。用も施數も向こう3年で50枚のタブレット補強費を目指します」

省資源で環境にや  
工法です。補強費  
工1力所で最大4  
イルを支持でき、  
用を抑えることが  
す。建物の長寿命  
められる中で、今  
イルフィックス工  
用する市場は増大  
。工業会の設立を  
、販売代理店網の  
進め、積極的に全  
開を図っていきま

# 維持補修の時代に全国展開

建材（中央区八丁目29番11号）—電話（35553）269

進め、積極的に全  
身を図つていきま

、  
工業会の設立を  
販売代理店網の

イルフィックス工  
用する市場は増大

す。建物の長寿命  
められる中で、今

イルを支持でき、  
用を抑えることが

工法です。補強費  
施工1カ所で最大4

の必要がないこと

確実に固定できま  
たタイル撤去や廃